



ミーティング番号/パターンの設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ミーティング番号/パターンの設定値」(P.62-1)
- 「ミーティング番号/パターンの検索」(P.62-3)
- 「ミーティング番号/パターンの設定」(P.62-4)
- 「ミーティング番号/パターンの削除」(P.62-5)
- 「関連項目」(P.62-5)

ミーティング番号/パターンの設定値

ミーティング会議では、電話番号の割り当てが必要です。Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用してミーティング会議用電話番号の範囲を設定し、ユーザがこの機能を利用できるようにします。

始める前に

次の条件を満たしていることを確認してから、ミーティング番号/パターンを設定してください。

- サーバが設定済みであること。「サーバの設定」(P.2-1)を参照してください。
- デバイスプールが設定済みであること。「デバイスプールの設定」(P.9-1)を参照してください。

表 62-1 では、ミーティング番号/パターンの設定値について説明します。関連する手順については、「関連項目」(P.62-5)を参照してください。

表 62-1 ミーティング番号/パターンの設定値

フィールド	説明
[電話番号またはパターン (Directory Number or Pattern)]	ミーティングの電話番号やパターン、または番号の範囲を入力します。範囲を設定するには、角カッコ内にダッシュとそれに続く数値を入力する必要があります。たとえば、範囲 1000 ~ 1050 を設定するには、10[0-5]0 と入力します。
[説明 (Description)]	説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、または山カッコ (<>) は使用できません。

表 62-1 ミートミー番号/パターンの設定値 (続き)

フィールド	説明
[パーティション (Partition)]	<p>パーティションを使用してミートミー番号/パターンへのアクセスを制限する場合は、ドロップダウン リスト ボックスから適切なパーティションを選択します。</p> <p>ミートミー番号/パターンへのアクセスを制限しない場合は、パーティションに [なし (None)] を選択します。詳細については、「パーティションの設定」(P.53-1) を参照してください。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズ パラメータを使用して、このドロップダウン リスト ボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。Max List Box Items エンタープライズ パラメータで指定した数よりも多くのパーティションが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に [検索 (Find)] ボタンが表示されます。[検索 (Find)] ボタンをクリックして、[パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウを表示します。パーティション名を検索し、選択します (「パーティションの検索」 (P.53-4) を参照)。</p> <p>(注) リスト ボックスの最大項目を設定するには、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] の順に選択し、[CCMAdmin Parameters] の下の [Max List Box Items] フィールドを更新します。</p> <p>(注) ミートミー番号/パターンとパーティションの組み合わせが、Cisco Unified Communications Manager クラスタ内で固有であることを確認してください。</p>
[最小セキュリティレベル (Minimum Security Level)]	<p>このミートミー会議番号またはパターンの最小ミートミー会議セキュリティレベルを、ドロップダウン リスト ボックスから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [認証のみ (Authenticated)] : ノンセキュアな電話機を使用した参加者が会議に参加することをブロックします。 [暗号化 (Encrypted)] : 認証済みまたはノンセキュアな電話機を使用した参加者が会議に参加することをブロックします。 [非セキュア (Non Secure)] : すべての参加者が会議に参加できます。 <p>(注) この機能呼び出すには、セキュアな会議ブリッジが設定済みで使用可能になっている必要があります。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。</p>

追加情報

「[関連項目](#)」(P.62-5) を参照してください。

ミートミー番号/パターンの検索

ネットワーク内にはいくつかのミートミー番号/パターンが存在する場合があります。Cisco Unified Communications Manager では、条件を指定して、特定のミートミー番号/パターンを見つけることができます。ミートミー番号/パターンを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、ミートミー番号/パターンの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、ミートミー番号/パターンの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [コールルーティング (Call Routing)] > [ミートミー番号/パターン (Meet-Me Number/Pattern)] の順に選択します。

[ミートミー番号の検索と一覧表示 (Find and List Meet-Me Numbers)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、「**ステップ 3**」に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索 (Find)] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数 (Rows per Page)] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択 (Select All)] をクリックして [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 レコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

「関連項目」(P.62-5) を参照してください。

ミートミー番号/パターンの設定

ミートミー番号/パターンを追加、コピー、および更新する手順は、次のとおりです。

始める前に

次の条件を満たしていることを確認してから手順に進んでください。

- サーバが設定済みであること。「サーバの設定」(P.2-1) を参照してください。
- デバイス プールが設定済みであること。「デバイス プールの設定」(P.9-1) を参照してください。

手順

ステップ 1 [コールルーティング (Call Routing)] > [ミートミー番号/パターン (Meet-Me Number/Pattern)] の順に選択します。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- 既存のミートミー番号/パターンをコピーするには、該当するミートミー番号/パターンを見つけます（「ミートミー番号/パターンの検索」(P.62-3) を参照）。コピーするミートミー番号/パターンをクリックします。[ミートミー番号/パターン設定 (Meet-Me Number/Pattern Configuration)] ウィンドウが表示されます。[コピー (Copy)] をクリックし、「ステップ 3」に進みます。
- ミートミー番号/パターンを追加するには、[新規追加 (Add New)] ボタンをクリックし、「ステップ 3」に進みます。
- 既存のミートミー番号/パターンを更新するには、該当するミートミー番号/パターンを見つけます（「ミートミー番号/パターンの検索」(P.62-3) を参照）。更新するミートミー番号/パターンをクリックし、「ステップ 3」に進みます。



(注) 必要に応じて、番号またはパターンを変更することができます（たとえば、5000 を 500X に変更できます）。

ステップ 3 適切な設定値を入力します（表 62-1 を参照）。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

追加情報

「関連項目」(P.62-5) を参照してください。

ミートミー番号/パターンの削除

ミートミー番号/パターンを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

次の条件を満たしていることを確認してから手順に進んでください。

- サーバが設定済みであること。
- デバイス プールが設定済みであること。
- ミートミー番号/パターンが設定済みであること。

手順

-
- ステップ 1** 「ミートミー番号/パターンの検索」(P.62-3) の手順を使用して、ミートミー番号/パターンを検索します。
- ステップ 2** 削除するミートミー番号/パターンをクリックします。
- ステップ 3** [削除 (Delete)] をクリックします。
-

追加情報

「関連項目」(P.62-5) を参照してください。

関連項目

- 「ミートミー番号/パターンの設定値」(P.62-1)
- 「ミートミー番号/パターンの検索」(P.62-3)
- 「ミートミー番号/パターンの設定」(P.62-4)
- 「ミートミー番号/パターンの削除」(P.62-5)
- 「パーティションの設定」(P.53-1)
- 「会議デバイスの設定」(P.71-18)
- 「会議デバイスの同期化」(P.71-19)
- 「会議デバイスの削除」(P.71-20)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「会議ブリッジ」

